

新型コロナウイルス感染症への対応等に関する教育委員会メッセージについて

1. 目的

新型コロナウイルス感染症への対応について、児童生徒の健康安全を第一に、学習保障、心のケア、偏見や差別を防止する取組等を推進し、児童生徒の健やかな成長のために日々尽力していただいている教職員に感謝とお願いのメッセージを伝える。

2. 内容

- ・これまでの新型コロナウイルス感染症への取組についてのお礼
- ・児童生徒の心のケアと適切な支援についてのお願い
- ・感染者等に対する偏見や差別の防止等についてのお願い
- ・子どもの未来を担う教職員へのお願い

3. 送付について

- (1) 対象 県立学校、市町村教育委員会及び全ての県内公立学校教職員
- (2) 時期 9月10日（木）定例教育委員会議決後
- (3) 方法 県立学校及び市町村教育委員会にメールにて送付
県内公立学校教職員にはG Suite for Educationにて送付

奈良県公立学校の教職員の皆様へ

本年に入り新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、県内の各学校において臨時休業措置がとられるなど、これまでに経験のない状況が長期にわたって続くことになりました。臨時休業中、先生方におかれましては、児童生徒と連絡を取ることもままならない中、あらゆる手を尽くして児童生徒の健康安全、学習保障等に取り組んでいただき、誠にありがとうございます。さらに、ICT機器等の新しいツールを、児童生徒の学習をはじめ日々の取組に活用していただいていることに対しても、重ねて感謝を申し上げます。

先行きが見えない状況の中、当然のことながら、不安を抱え、心が不安定になる児童生徒もいます。日々、このような児童生徒を温かく見守り、全力で支えていただいているところですが、2学期に入り、ケアを必要とする児童生徒が増えることも考えられます。日々の観察に加え、実施をお願いしているアンケートを児童生徒の心のケアに活用するなど、細心の配慮と適切な支援を教育研究所の教育支援部とともに願います。

また、全国的に、新型コロナウイルスによる感染者や集団感染が確認された学校の児童生徒や学生等が、インターネット上で誹謗中傷の書き込みをされたなどの報道がなされています。文部科学大臣メッセージを受けて、県教育委員会では、8月31日にワークシート教材及び指導資料「新型コロナウイルスと向き合い、乗り越えるために」を作成しました。本教材を活用した御指導により、児童生徒が、漠然とした不安や恐怖、ストレスから、感染者やその関係者等に対し過剰な反応を示すことで相手を傷つけることのないことを願っています。

このように、コロナ禍で未曾有の試練に直面し教職員が一致団結して乗り越えようとしている中で、二人の教諭が逮捕される事態が発生いたしました。今回の行為は、これまでひたむきに積み上げてきたものだけでなく、児童生徒や保護者への真摯な思いまでも台無しにしてしまうものです。そして何よりも、学校だけでなく、本県の教職員の信用までも失墜させる行為だと思えます。なぜ、自らの未来を棒に振る愚かな行為に走るのでしょうか。

今一度、先生方には、御自身が教職を目指したきっかけや、初めて児童生徒の前に立ったときの気持ちを思い出し、御自身の心と向き合ってほしいと思います。今の御自身は、自らの思いを児童生徒に伝えるにふさわしい心の状態でしょうか。ぜひ、己の心と対話する時間をもってほしいと思います。子どもの未来を担う教職員の皆さんだからこそ、自らの未来も大切にしてください。未来の自分を想像し、今の自分と対話することが、自らを高めることにもつながるでしょう。

今後とも、教育に携わる一人として、自覚と責任をもち、目の前の児童生徒の健やかな成長のために力を尽くしてくださるようお願いいたします。県教育委員会としても、奈良県教育に携わる仲間として、先生方を支援してまいります。

令和2年9月
奈良県教育委員会